

みなとみらい21 中央地区43街区の事業予定者が決定！

「神奈川大学」新キャンパスが みなとみらい21 地区に進出します

横浜市では、みなとみらい21地区において、企業誘致やMICE施設拡充等による国際競争力の強化、環境未来都市に向けた取組やエリアマネジメントによる賑わい創出により、横浜をけん引する魅力的なまちづくりを進めています。事業着工から34年を経て、みなとみらい21地区は、ビジネス、観光MICE、居住空間など多様な都市機能を有する魅力と活気に満ちた街に発展しています。

このたび、みなとみらい21中央地区43街区では、開発事業者の公募を実施していましたが、「学校法人神奈川大学」からキャンパス新設のご提案があり、事業予定者に決定しました。

大学キャンパスの開設は、みなとみらい21中央地区初であり、多くの学生の学びの場になるとともに、グローバルな賑わいや、「知」の文化・世代・地域の交流なども期待でき、みなとみらい21地区に新たな魅力を形成していきます。

事業予定者

学校法人 神奈川大学

まさの ゆきのぶ

- ・理事長 正野 幸延 氏
- ・所 在 横浜市神奈川区六角橋三丁目27番1号
- ・問合せ 広報部
(担当：水上 様 Tel：045-481-5661)

 世界へ、そして未来へ
神奈川大学

昭和3年、桜木町で設立。横浜、平塚に大学、附属中学・高校を合わせて、3拠点有している。総学生数は約2万人。平成29年の箱根駅伝では総合5位に入賞。

事業概要

新キャンパスは「国際・日本」の融合した未来「創造・交流」キャンパスの展開をコンセプトとしています。

日本文化を日本から世界へ発信する新たな国際系の学部の開設やグローバル系学部の集約を行うほか、建物の低層部分には、あらゆる「人」が集い「知」が交流する拠点（ソーシャルcommons）を設置し、大学としての機能だけでなく、新しい学び、賑わいの場を提供します。

また、これらの場を活用して、地域と連携したイベントを開催するなど、エリアマネジメントにも積極的に参画することで、学生数約5,000人を含めた、年間延べ10万人の来街者を見込んでいます。

災害時には、多目的ホールや各種ラウンジ、講義スペース等を状況に合わせて利用できるよう、今後、協議を進めていきます。

施設概要

- (1) 所 在 横浜市西区みなとみらい四丁目5番1ほか
- (2) 敷地面積 7,848.31 m²
- (3) 延床面積 約46,600 m²
- (4) 階 数 地上21階、地下1階（高さ98.85m）
- (5) 主要施設 【1～3階】 図書館、ラーニングcommons、多目的ホール、ワールドビュッフェ、各種ラウンジ等
【4～21階】 大学施設、研究施設、レセプションルーム等

事業予定者決定までの経緯等

(1) 選考までの経緯

平成 28 年 10 月 3 日 公募開始 (平成 28 年度第 3 回受付 売却価額約 88 億 6074 万円)
平成 28 年 12 月 14 日 登録受付
平成 28 年 12 月 21 日 提案受付 (提案件数 1 件)
平成 29 年 4 月 12 日 事業予定者決定

(選定理由)

本件提案は、横浜発祥の総合大学の進出であり、知的な空間を創出するとともに、グローバルな賑わいや、地域・産官学の連携なども期待できる、みなとみらい 21 地区にふさわしい魅力的な提案と認められたため。

詳細については港湾局 HP (<http://www.city.yokohama.lg.jp/kowan/business/koubo/>) に掲載します。

(2) 今後のスケジュール (予定)

6 か月以内 基本計画協議、予約契約締結
1 年以内 基本計画協定、土地売買契約締結
平成 30 年 9 月 着工
平成 32 年 11 月 竣工
平成 33 年 4 月 開設

【イメージパース】

※今後の検討によって変更される可能性があります。



【正面】



【低層部】



お問合せ先

港湾局管財第一課担当課長	松波 義治	Tel 045-671-2717
都市整備局みなとみらい 21 推進課長	白井 正和	Tel 045-671-3501

※本件は、横浜海事記者クラブ、横浜経済記者クラブへも同時発表しています。